

後期対面授業再開

令和3年度の後期授業は、新型コロナウイルス感染症対策としての遠隔授業(10/2~23)で始まりましたが、今日から対面授業の再開です。

今年の前期(4月~9月)退学者は21名で、現在の児童生徒数は328名となっています。また、後期の入学者は本日、編入試験を行いましたので、若干名増える予定です。

いつも言っていることですが、「授業が分かる・学校が楽しい」となるように、目標を持って学校生活を送るようにして下さい。

また、これから編入してくる児童生徒の皆さんが早く学校生活に慣れ、同じように「分かる・楽しい」という気持ちになれるよう皆さんで協力や支援をしていきましょう。



新型コロナウイルス感染症に関する差別や偏見の防止

新型コロナウイルス感染症の影響が日本でも全国的に拡大し、学校においても感染者の発生が続いているようです。シンガポールにおいても同様で、この感染状況の中、感染者やその家族、完治した人や感染症に関わる人に対する接し方について、考える必要があります。

新型コロナウイルスに感染した人への差別や中傷が後を絶たない事から、文部科学省は「差別につながる言動を行ったり同調したりしないように」と呼びかけています。

- 感染した人や症状のある人を責めるのではなく励まし、温かく迎えること
 - 誤った認識や不確かな情報に惑わされず、科学的根拠に基づいて行動できること
 - 感染者への差別や偏見、誹謗中傷などを許さないこと
 - 感染した個人や学校を特定して避難するなど、周囲で差別につながる言動があった時は同調せず、やめるよう声を上げること
- ※ **感染を責める雰囲気**が広がれば**受診の遅れ**や**感染を隠す事**につながりかねず、**感染の拡大**につながります。



新型コロナウイルスには誰もが感染する可能性があり、感染した人が悪いということではない。悪いという雰囲気ができて、感染したことを言い出しにくくなると、さらに感染が広がってしまうかもしれない。差別の防止を進める。(前文科相発言)

新型コロナの捉え方について、「**病気**」「**不安**」「**差別**」を3つの顔としてあげ、病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別が病院への受診をためらわせて、さらに病気を拡散させるという流れで、周りに“**感染**”していくそうです。

感染防止、新型コロナと「付き合う」方法

- 「**病気**」には、手洗いやせきエチケットを徹底する
- 「**不安**」には、あらゆる情報を仕入れようとせず、
ずに親しい人との交流を避けない
- 「**差別**」には、感染した人やその周りの人には、
ねぎらいの気持ちを持つ

感染対策やっています！



※ 子どもが感染した際には、「みんな待っているよ」というメッセージを伝え、
学級で手伝えることや応援できることはないかを、全員で考えてその子を迎える
準備をすることが大切です。 (文部科学省の通知から)

日本の祝日と行事予定

【11月の日本の祝日】

- 11月 3日(水) 文化の日
11月 23日(火) 勤労感謝の日

【11月の行事予定】

- 11月 6日 書道①
11月 13日 書道②
11月 20日 休校

※日本人学校運動会は中止となりましたが、本校は予定どおり休校とします。
ご了承ください。



学校からのお知らせ

- ① 本日、遠隔授業期間に実施した行事学習（運動会・お月見集会）に関連して全校児童生徒に鉛筆とお団子を配布しました。行事に関連して学校から配布するお菓子は、必ず持ち帰って食べるように指導しています。ご家庭でもご協力ください。
- ② 活動記録ブック表紙絵コンクールは 11月6日(土)提出締切りです。
(サイズ：A4サイズ/テーマ：補習校での活動 ※立体的な作品は不可)
- ③ 書道（11月6日・13日に実施）について
 - ・水書を行います。（墨は使用しません。）
 - ・水書に必要な専用用具（半紙及び筆）は、学校が用意します。
 - ・長い髪の毛は結んでおいてください。
- ④ 活動記録ブック用学級写真撮影
10月に予定していました学級写真撮影は 10月編入生の入学後（11月13日以降）に行う予定です。撮影日は、改めてお知らせします。

